



2023. 8. 8

2024年3月期 第1四半期

決算説明資料

東京証券取引所スタンダード市場
証券コード 5162

2024年3月期第1四半期 決算実績

連結決算 実績	4
連結決算 実績 – セグメント別	5
連結決算 実績 – 地域別	6
中期事業分野	7
中期事業分野別 実績	8
主要製品 実績	9 ~ 12

2024年3月期予測

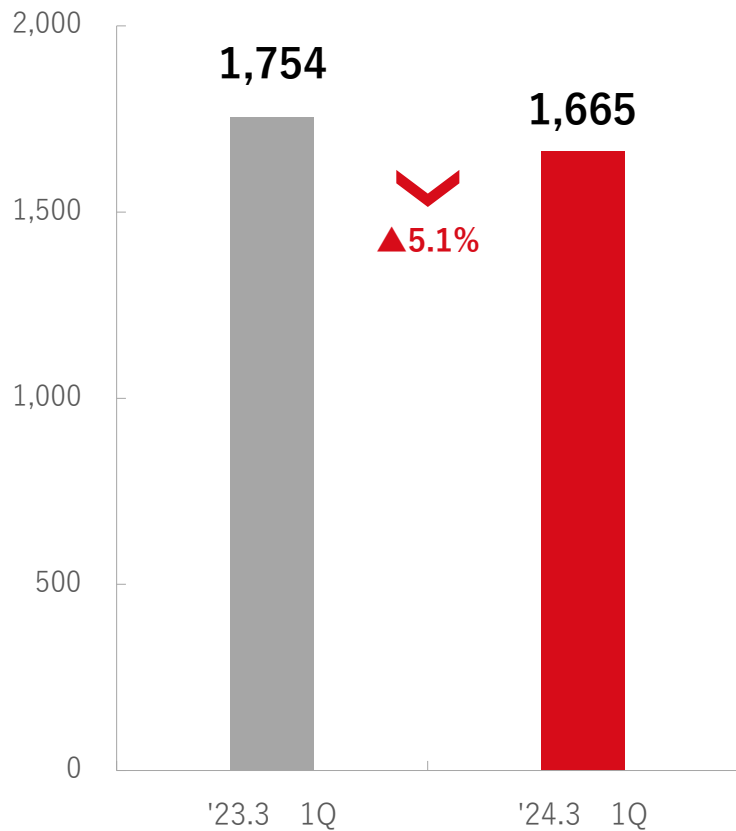
連結決算 通期予測	14
連結決算 損益予測修正	15
中期事業分野別 通期予測	16
主要製品 通期予測	17
配当計画	18

2024年3月期 第1四半期決算

実績

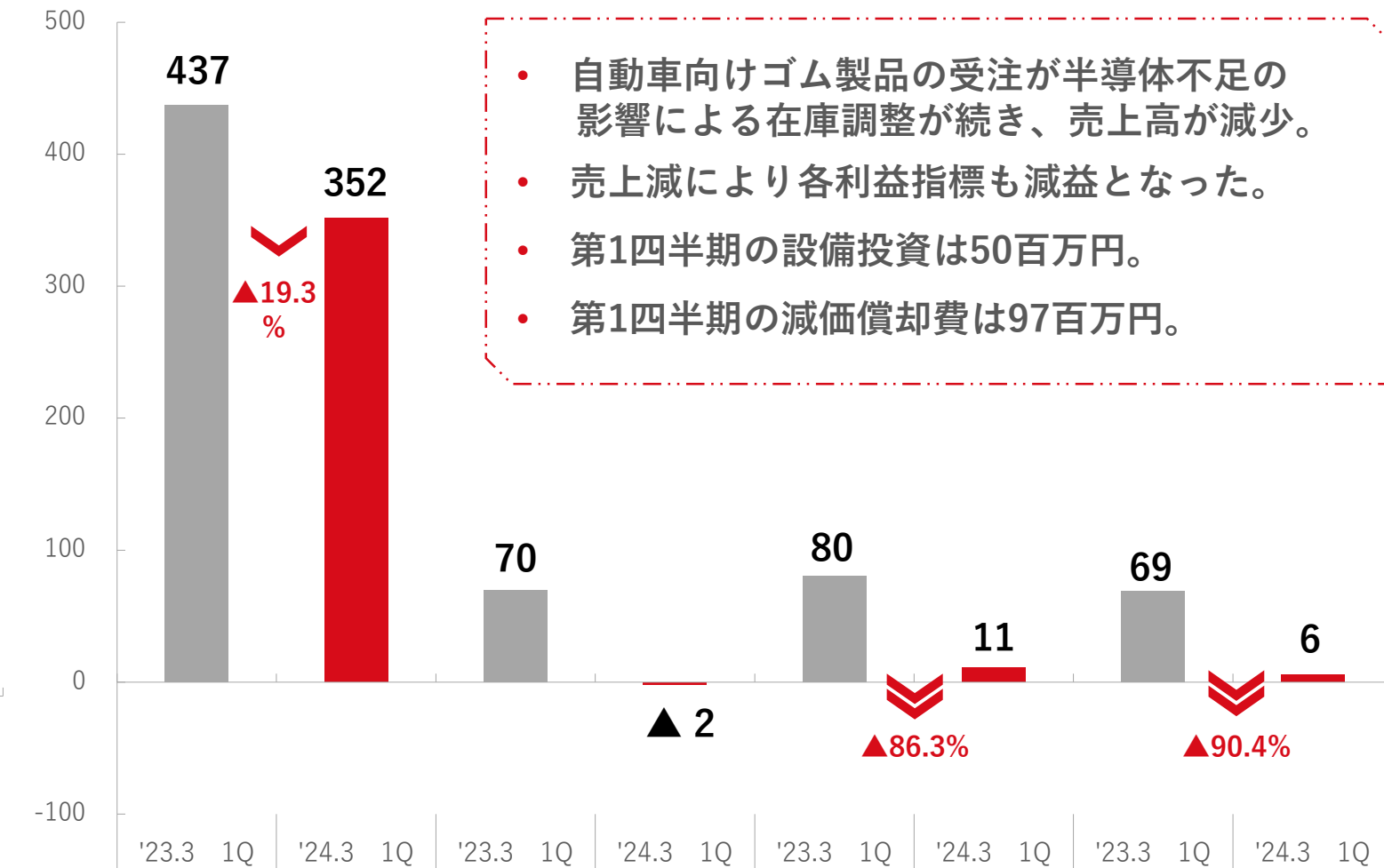
2024年3月期第1四半期連結決算 実績

単位：百万円



売上高

単位：百万円



売上総利益

営業損益

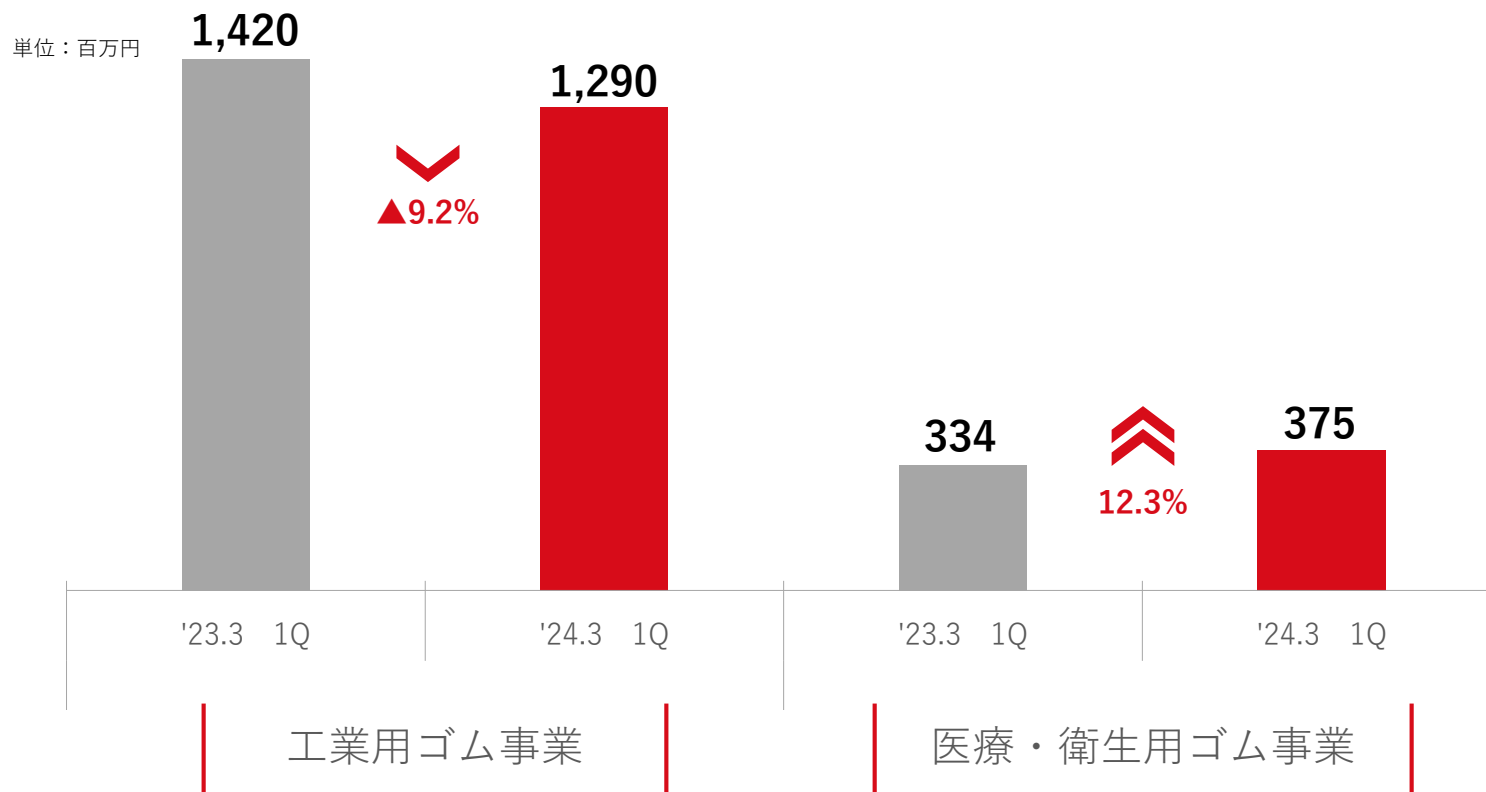
経常利益

四半期
当期純利益

- 自動車向けゴム製品の受注が半導体不足の影響による在庫調整が続き、売上高が減少。
- 売上減により各利益指標も減益となった。
- 第1四半期の設備投資は50百万円。
- 第1四半期の減価償却費は97百万円。

2024年3月期第1四半期連結決算 実績－セグメント別

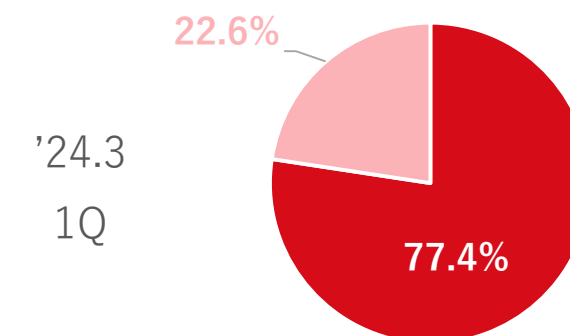
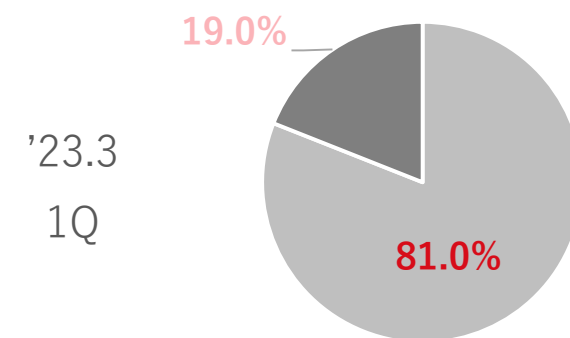
売上高



医療・衛生用ゴム事業は診断・治療分野での受注が好調であることと、新製品の逆流防止弁のARチェックバルブの受注が寄与し売上増。

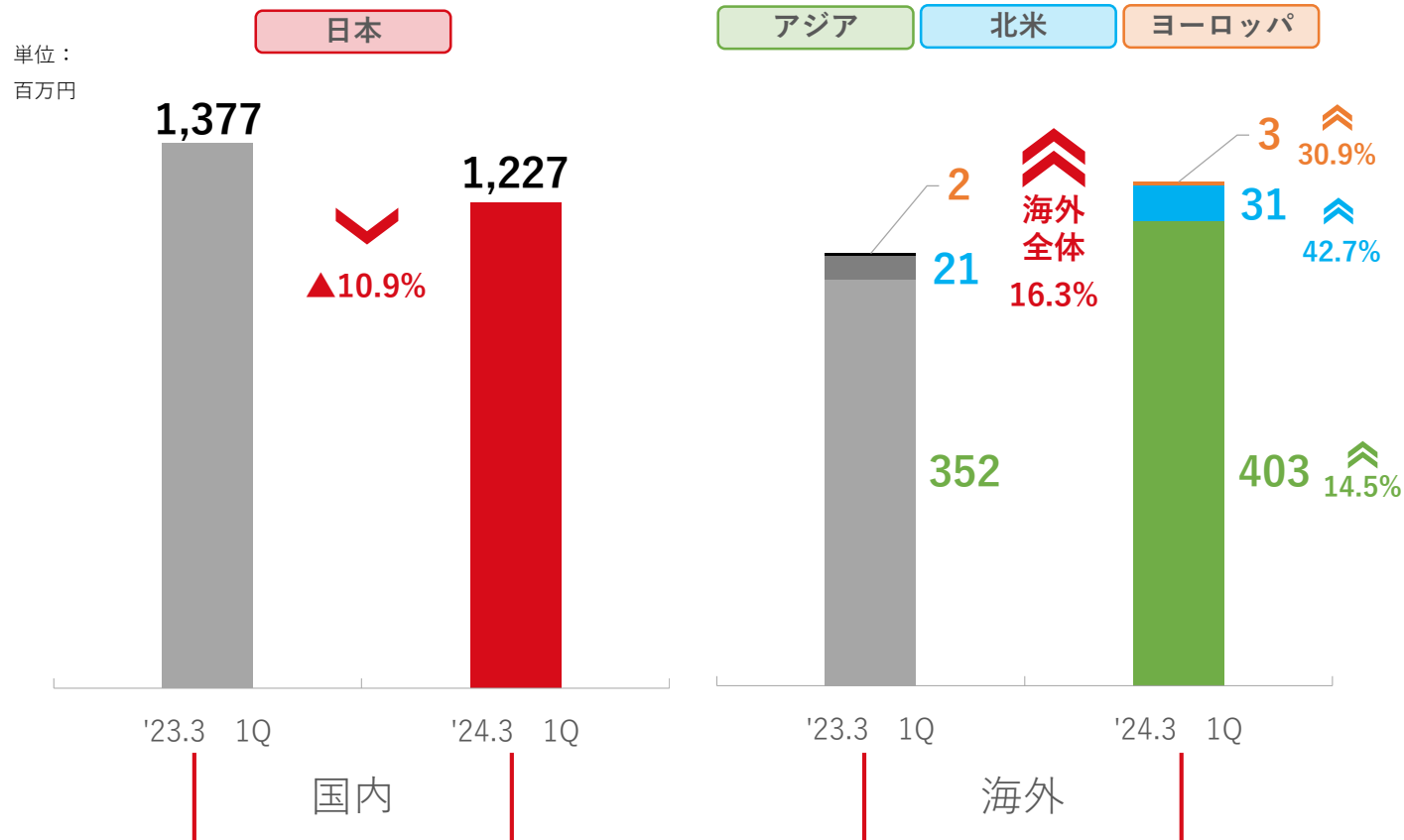
構成比

- 工業用ゴム事業
- 医療・衛生用ゴム事業



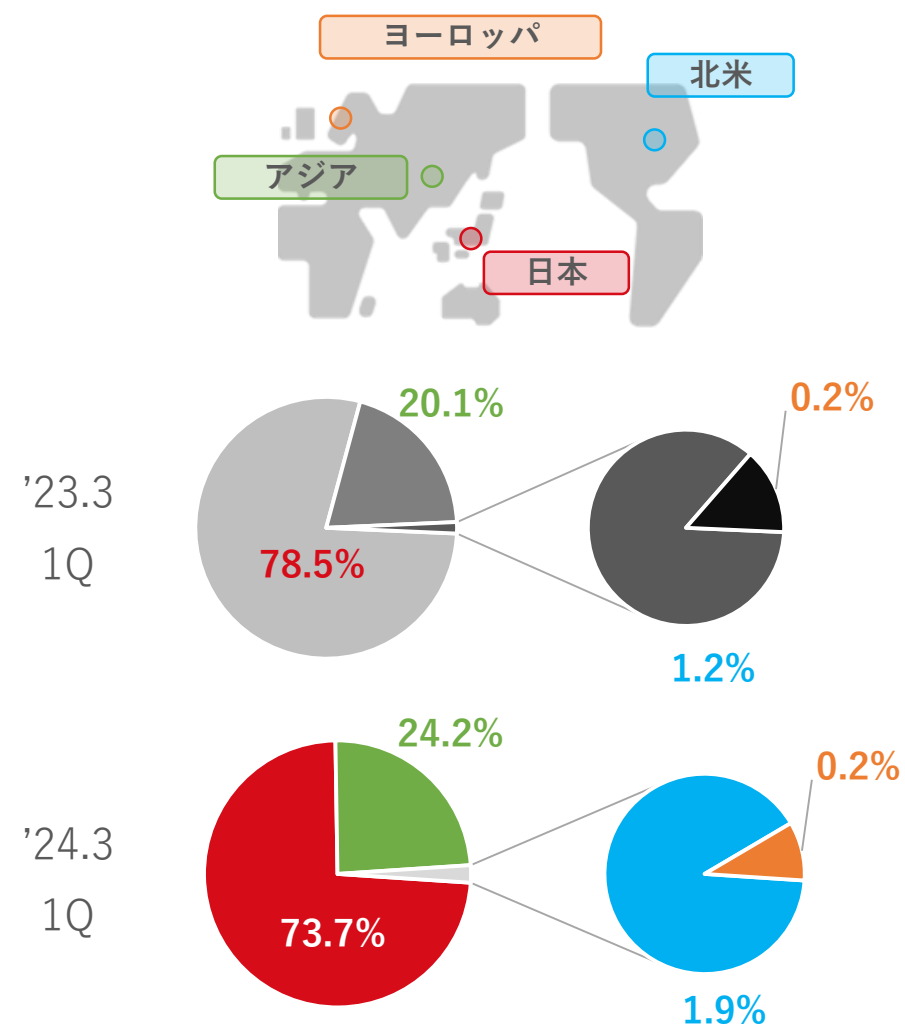
2024年3月期第1四半期連結決算 実績－地域別

売上高



前年同期比で、アジア向けの売上高がコロナ禍から回復。

構成比



中期事業分野

光学事業

主要
製品

ASA COLOR LED
ASA COLOR LENS
白色シリコンインキ



「感性、共感」をキーワードに、色と光を制御する技術と感性技術を磨き、自動車の内装照明市場から外装照明、またアンビエント照明に向けた技術開発と提案を進める。

医療・ライフサイエンス事業

主要
製品

プレフィルドシリンジ用ガスケット
採血用・薬液混注用ゴム栓
ARチェックバルブ
マイクロ流体デバイス



診断・治療分野、理化学機器分野、介護・予防分野に向けて制御技術と感性技術を磨き、世界の医療現場と患者のQOL（Quality of Life）向上に貢献する。

機能事業

主要
製品

自動車スイッチ用ゴム
卓球ラケット用ラバー
F-TEM
(フレキシブルサーモエレクトリックモジュール)



ビークル分野、エネルギー分野、環境発電分野、スポーツ分野において制御技術と触覚・熱・振動・光関連の技術、感性技術を磨き、将来のライフスタイルの実現への貢献に向けて、弾性無限で人に優しい感性価値を提供する。

通信事業

主要
製品

RFIDタグ用ゴム製品
やわらか保護カバー



自動認識分野、通信機器分野、センシング分野において、伝える・伝わるセンシング技術、触覚・熱・振動・光関連の技術、感性技術を磨き、ゴムだからこそ実現できる価値を提供する。

中期事業分野別 実績

単位：百万円

光学事業

662

578

▲12.7%

'23.3 1Q

'24.3 1Q

半導体不足影響による在庫調整により、自動車内装照明向けのASA COLOR LEDの売上が減少。

医療・ライフサイエンス事業

352

384

▲9.1%

'23.3 1Q

'24.3 1Q

診断・治療用の各種製品と逆流防止弁のARチェックバルブの売上が増加。

機能事業

595

582

▲2.1%

'23.3 1Q

'24.3 1Q

卓球ラケット用ラバーは市場の回復により売上増。半導体不足影響による在庫調整により、自動車向けスイッチ用製品は売上が減少。

通信事業

144

120

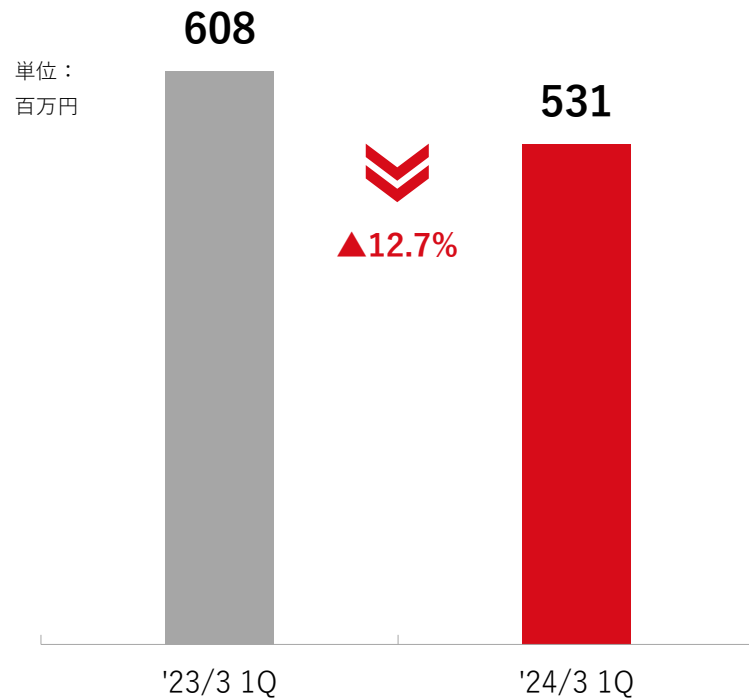
▲16.7%

'23.3 1Q

'24.3 1Q

RFIDタグ用ゴム製品は市場回復による売上増。半導体不足影響等による在庫調整により、コネクタ製品などの売上が減少。

連結売上高推移



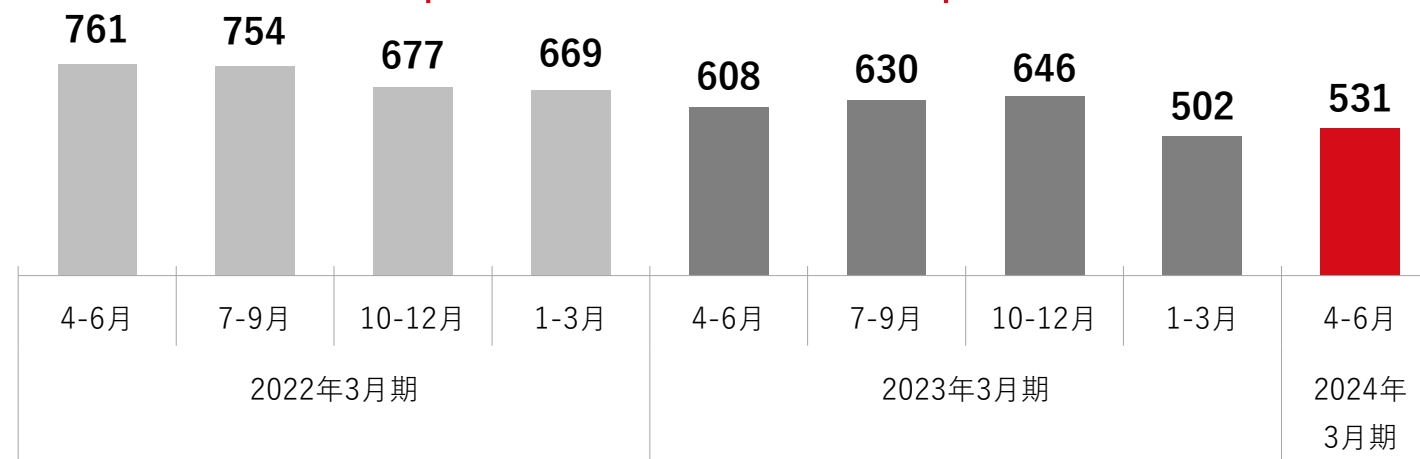
ASA COLOR LED

蛍光体を配合したシリコンゴム製のキャップを青色LEDに被せることで10,000色以上の光のバリエーションを提供できる。自動車内装照明や特殊照明向け。



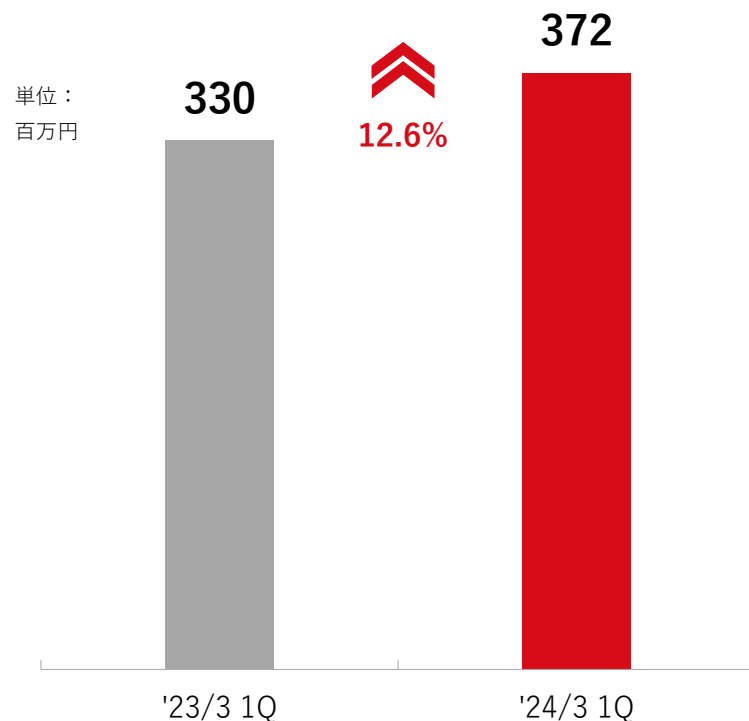
単位：百万円

四半期会計期間の売上高推移



半導体不足影響による在庫調整により受注の減少傾向が続くが、採用車種の市場販売状況により、徐々に回復の兆しが見えつつある。

連結売上高推移



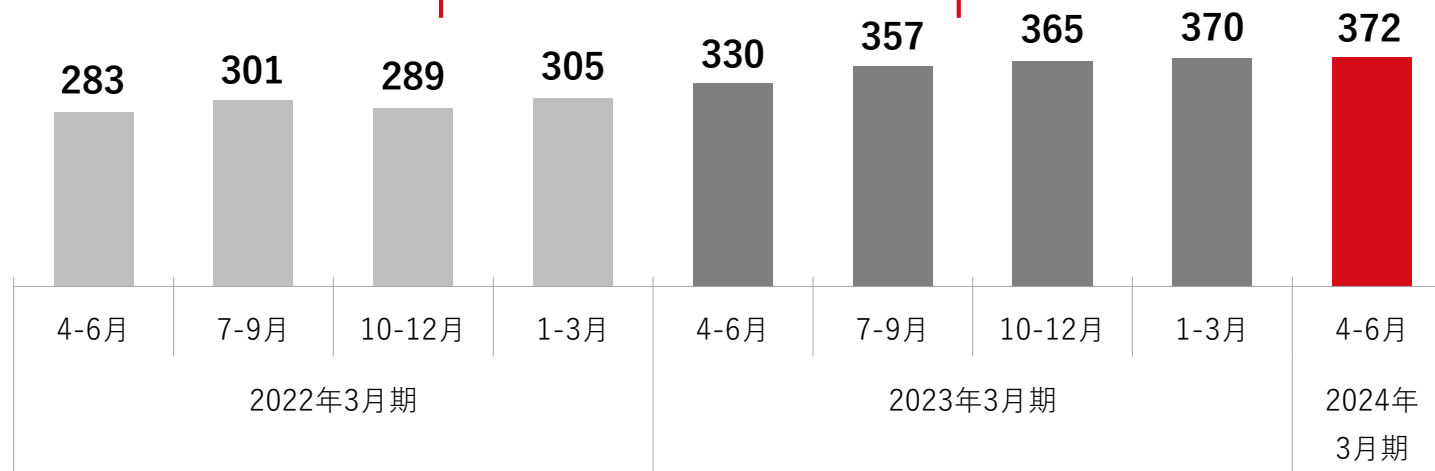
医療用ゴム製品

プレフィルドシリンジ（薬液充填済み注射器）用ガスケット、採血用・薬液混注用ゴム栓、ARチェックバルブなど、使い捨てのディスポーザブル用ゴム製品。



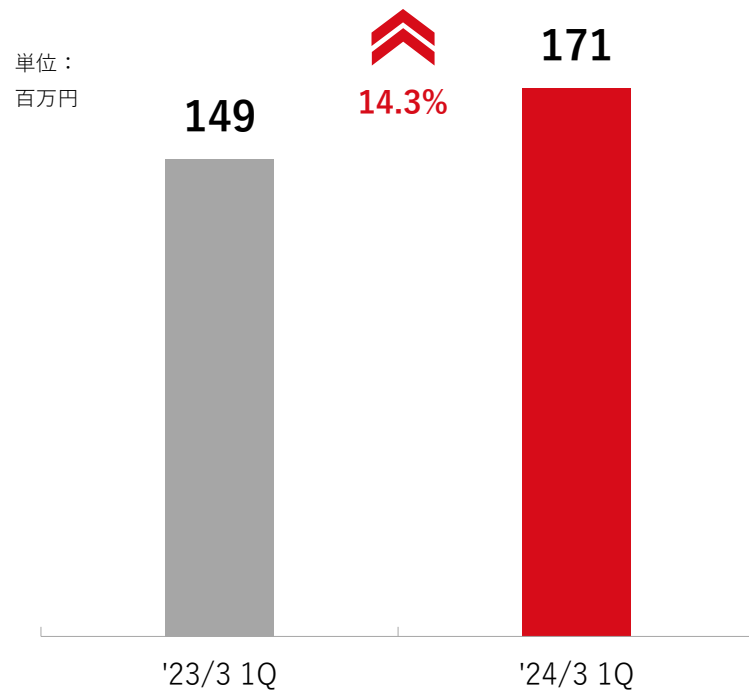
単位：百万円

四半期会計期間の売上高推移



医療現場での市場が回復し、診断・治療向けの製品の受注が増加したことと、逆流防止弁のARチェックバルブの売上げ増も寄与し、四半期で過去最高売上高を更新。

連結売上高推移



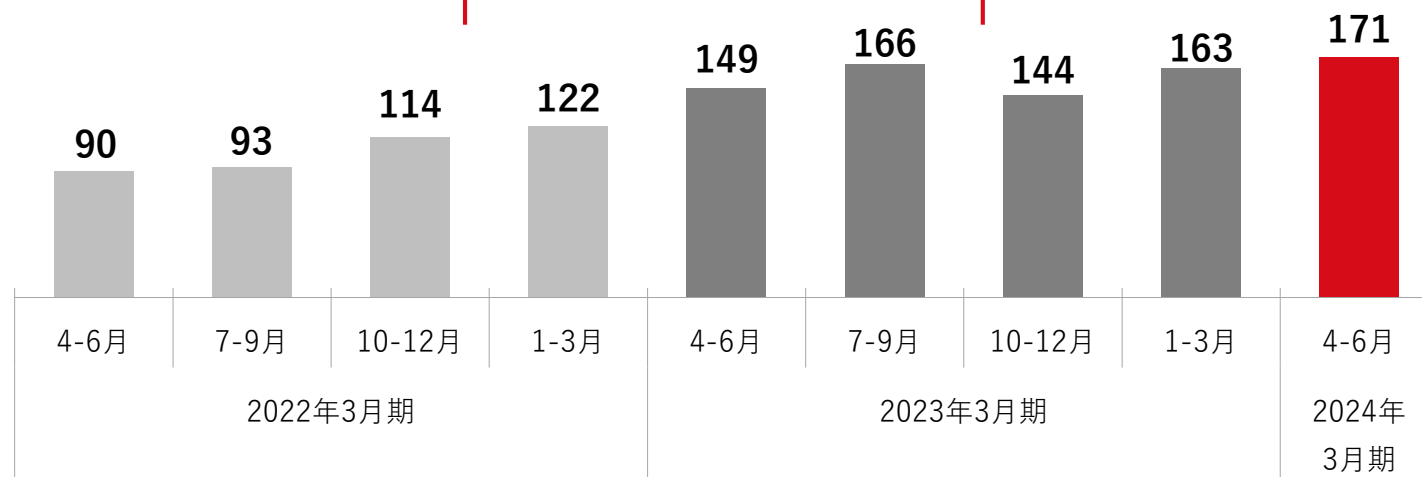
卓球ラケット用ラバー

反発弾性、高摩擦抵抗などを追及した高品質の卓球ラケット用ラバー。



単位：百万円

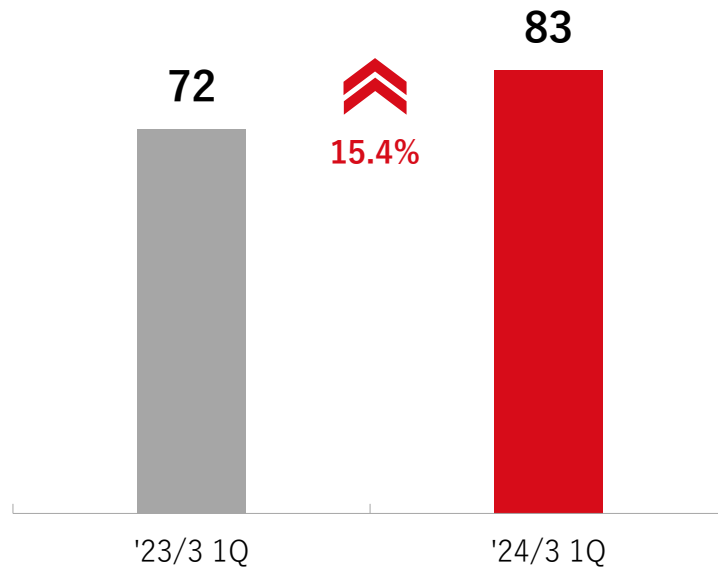
四半期会計期間の売上高推移



市場回復傾向が顕著であることと、新製品の市場供給がスタートし受注が好調。
四半期で過去最高売上高を更新。

連結売上高推移

単位：
百万円



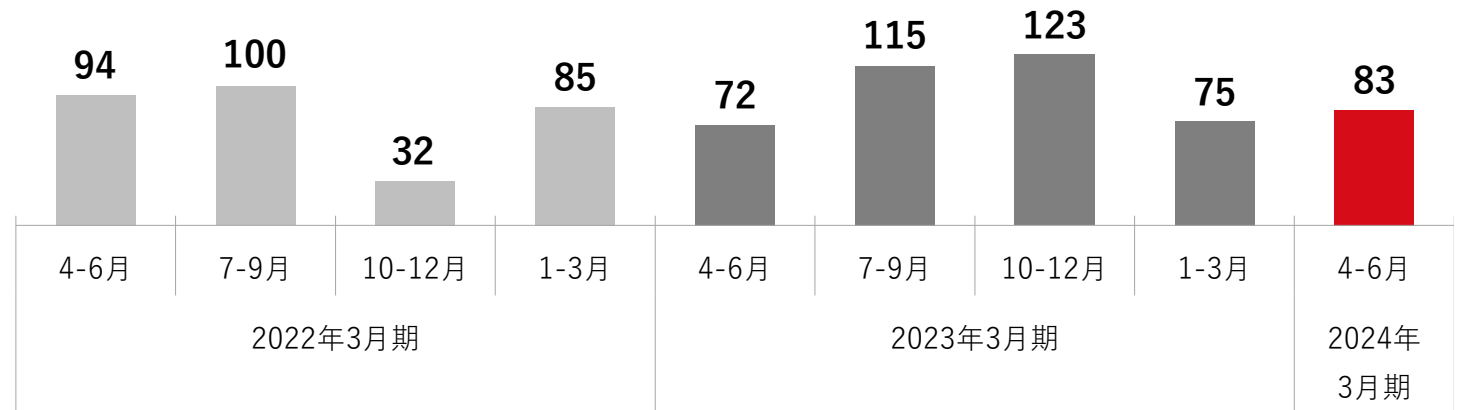
RFIDタグ用ゴム製品

溶剤を使わずに接着させる“分子接着・接合技術”を応用し、ICチップやアンテナ部をゴム素材で覆い、折り曲げに強く、耐水性、耐熱性に優れた、柔らかい小型のICタグ。



単位：百万円

四半期会計期間の売上高推移



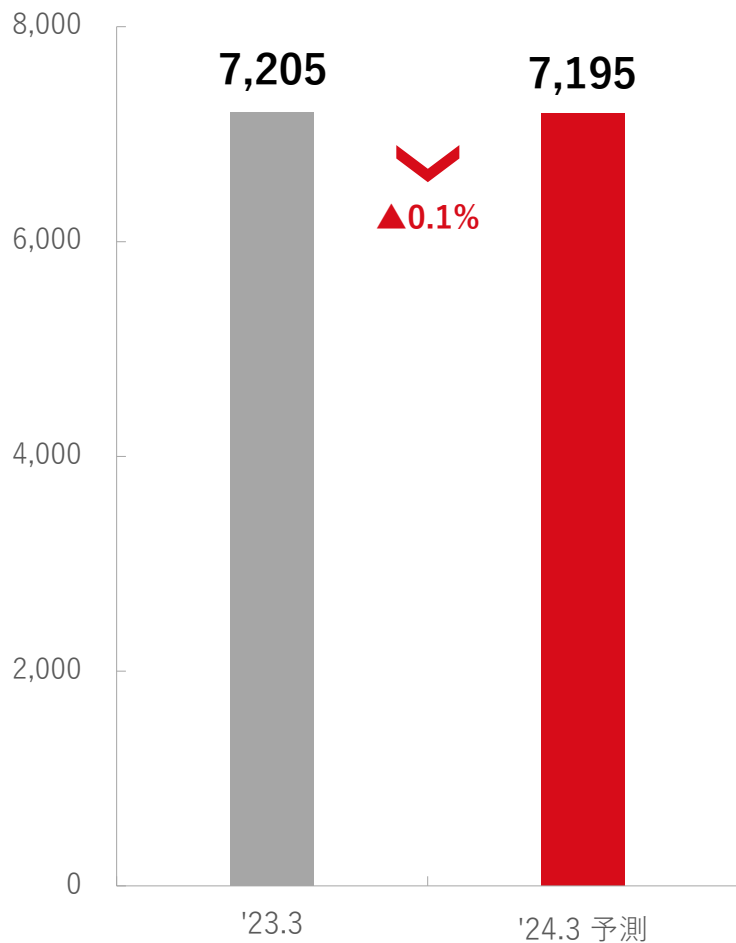
市場はコロナ禍から脱しつつあるが、需要にばらつきがあり本格回復までは至っていない。

2024年3月期 通期

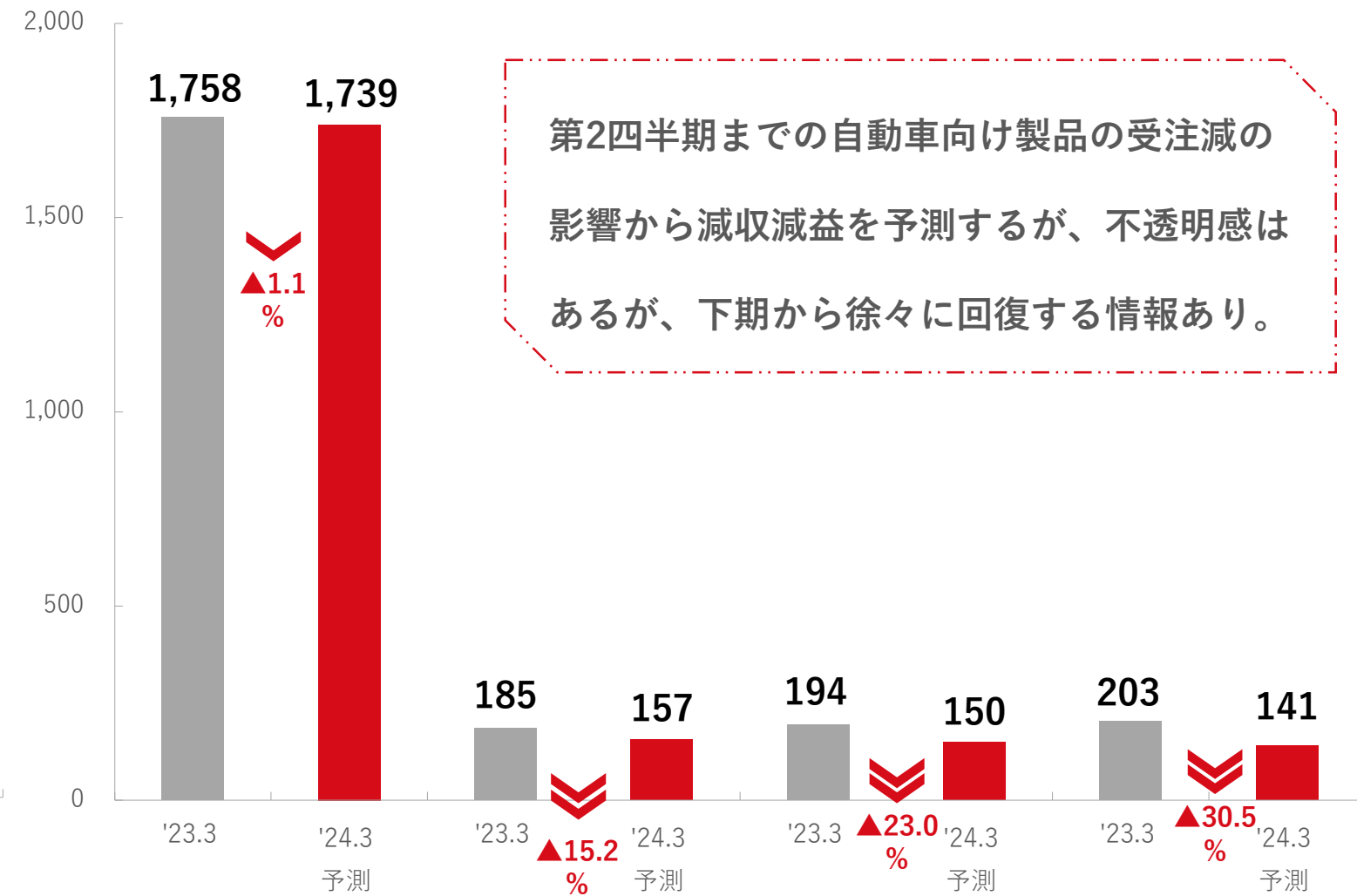
予測

2024年3月期連結決算 通期予測

単位：百万円



単位：百万円



第2四半期までの自動車向け製品の受注減の影響から減収減益を予測するが、不透明感はあるが、下期から徐々に回復する情報あり。

売上高

売上総利益

営業利益

経常利益

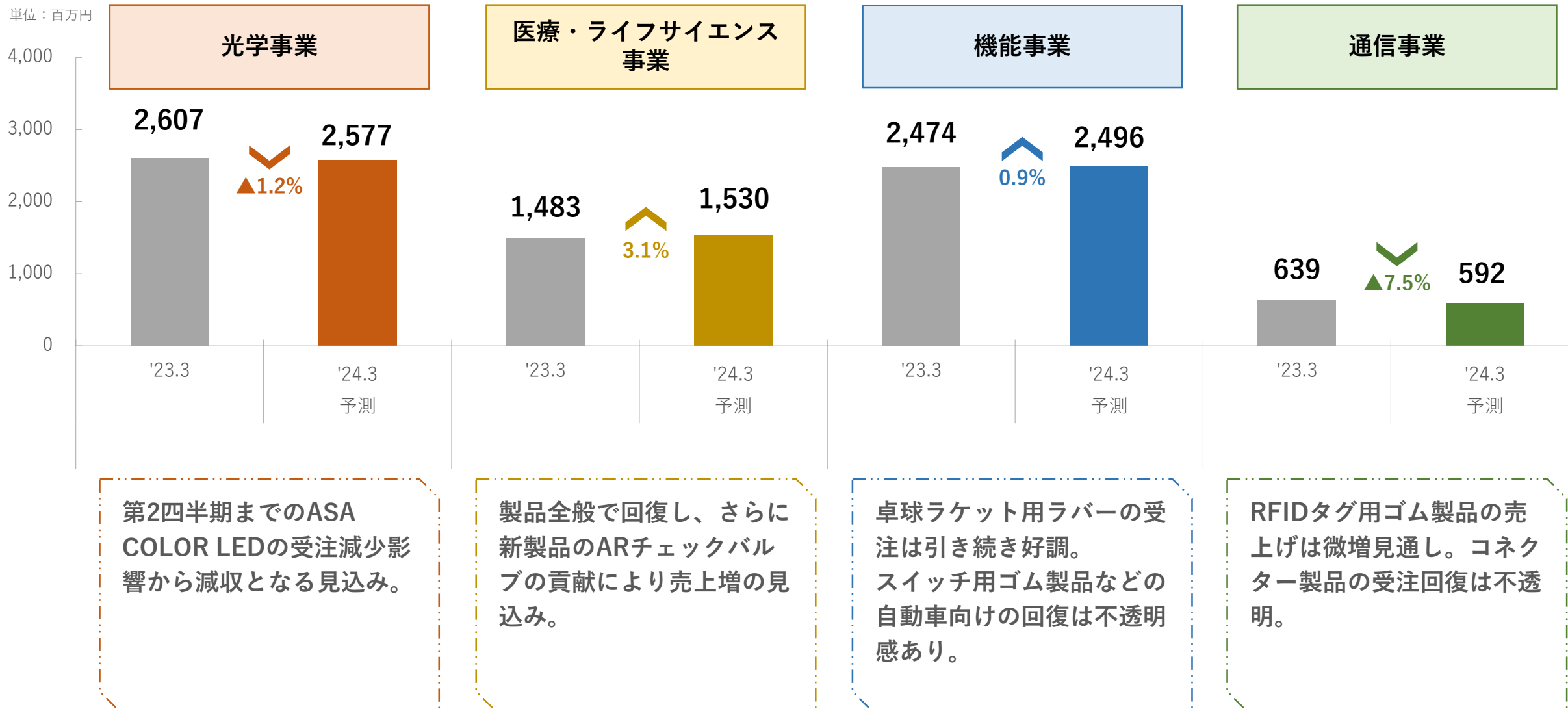
当期純利益

2024年3月期 損益予測修正

			‘23.3 実績		5月11日時点		8月8日修正			
			実績	構成比	予測	構成比	予測	構成比	増減率	
			(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(%)	
第2四半期	売	上	高	3,578	100.0	3,431	100.0	3,431	100.0	▲4.1
	売	上	総	885	24.8	802	23.4	802	23.4	▲9.5
	営	業	利	135	3.8	28	0.8	28	0.8	▲79.3
	経	常	利	143	4.0	27	0.8	27	0.8	▲81.2
	四半期当期純利益			112	3.2	17	0.5	52	1.5	▲53.9
通期	売	上	高	7,205	100.0	7,195	100.0	7,195	100.0	▲0.1
	売	上	総	1,758	24.4	1,739	24.2	1,739	24.2	▲1.1
	営	業	利	185	2.6	157	2.2	157	2.2	▲15.2
	経	常	利	194	2.7	150	2.1	150	2.1	▲23.0
	当期純利益			203	2.8	106	1.5	141	2.0	▲30.5

政策保有目的の投資有価証券の一部を売却することから、第2四半期に特別利益を計上する見込みで、第2四半期の四半期純利益と通期の当期純利益を上方修正。

中期事業分野別 通期予測 ※2023/5/11時点から修正なし



主要製品売上 通期予測 ※2023/5/11時点から修正なし



ASA COLOR LED

工業用ゴム事業

光学事業

- ・自動車市場は回復傾向だが、上期の受注回復は遅れる見通し。
- ・下期以降、サプライチェーンの正常化に伴い、受注が回復する見込み。



医療用ゴム製品

医療・衛生用ゴム事業

医療・ライフサイエンス事業

- ・一部の用途の製品の在庫調整は解消し、コロナ後の増加傾向が続く。
- ・新規製品のARチェックバルブの市場投入を進める。

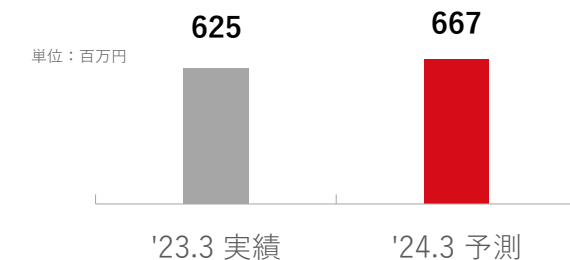


卓球ラケット用ラバー

工業用ゴム事業

機能事業

- ・市場の需要回復により、さらに受注が拡大する見通し。
- ・既存製品の受注増と新製品の生産スタートで売上高増加の見込み。



RFIDタグ用ゴム製品

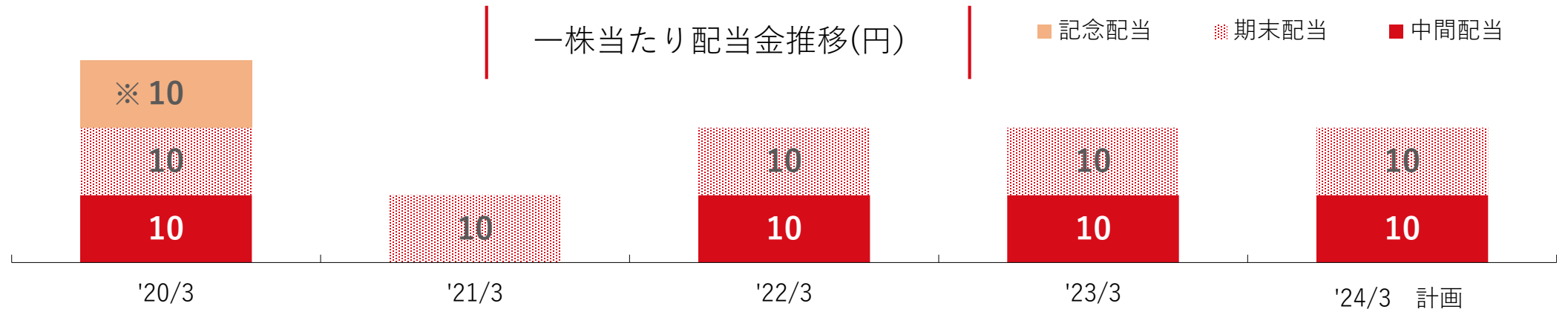
工業用ゴム事業

通信事業

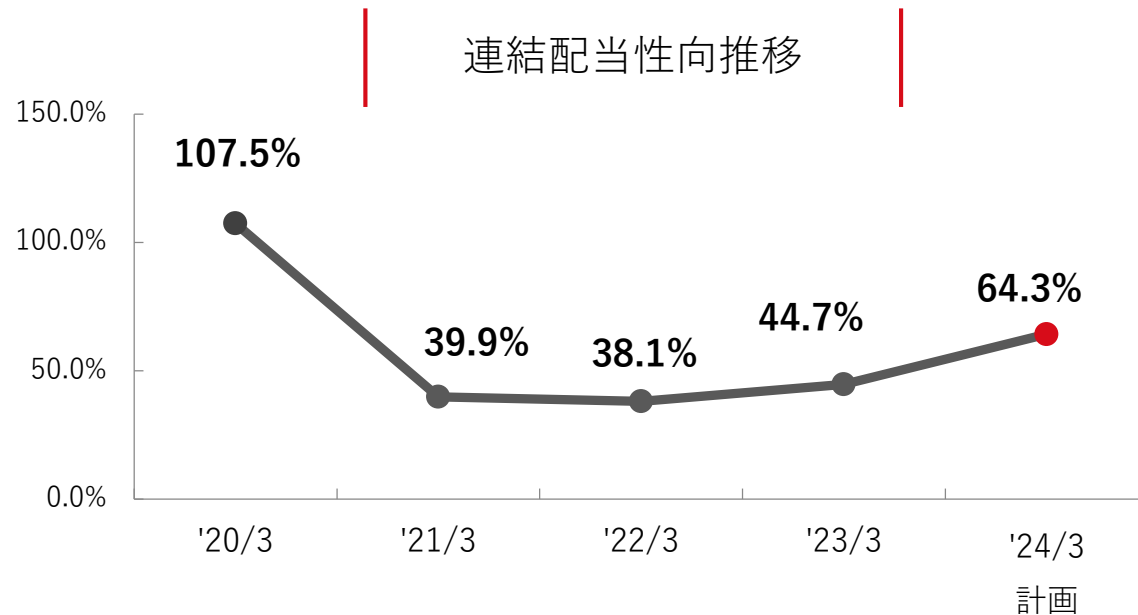
- ・半導体不足の影響は緩和されつつあるものの、市場環境の不透明さが続く。



2024年3月期 配当計画 ※2023/5/11時点から修正なし



※2020年3月期の期末配当は普通配当10円と記念配当10円を実施



第2四半期、通期とも減益見通したが、
一株当たり配当金は同額を計画。

お断り

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいりますが、当資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われないようにお願いいたします。

当資料についてのお問い合わせ先

株式会社朝日ラバー 管理本部経営企画部

TEL 048-650-6056